

作業計画と実績

2014年1月21日現在

月日	曜日	予定 (1/13週間予定表より)	実績
1月13日	月	Aniso Tubule 実験 (第2回)	Dynamic Surf 実験
1月14日	火		Dynamic Surf 実験
1月15日	水		Dynamic Surf 実験
1月16日	木		Dynamic Surf 実験
1月17日	金		Dynamic Surf 実験
1月18日	土		Dynamic Surf 実験
1月19日	日		Dynamic Surf 実験
		[継続実施中]	[継続実施中]
		○船内利用	○船内利用
		・「きぼう」船内の宇宙放射線計測 (Area PADLES)	・「きぼう」船内の宇宙放射線計測 (Area PADLES)
		・Stem Cells実験	・Stem Cells実験
		・Space Pup実験	・Space Pup実験
		○船外利用	○船外利用
		・宇宙環境計測ミッション (SEDA-AP) (※12/12より運用停止中)	・宇宙環境計測ミッション (SEDA-AP) (※12/12より運用停止中)
		・全天のX線天体の監視 (MAXI) (※12/12より一部観測運用のみ停止中)	・全天のX線天体の監視 (MAXI) (※12/12より一部観測運用のみ停止中)
		・4K極低温機械式冷凍機の技術データ取得 (SMILES) (※12/12より運用停止中)	・4K極低温機械式冷凍機の技術データ取得 (SMILES) (※12/12より運用停止中)
		・ポート共有実験装置 (MCE)の実験機器の運用 (※12/12よりHTDV撮影のみ)	・ポート共有実験装置 (MCE)の実験機器の運用 (※12/12よりHTDV撮影のみ)

日付は日本時間

- 略語 Dynamic Surf: 高プラントル数流体のマランゴニ振動流遷移における液柱界面の動的変形効果の実験的評価
 (代表研究者: 鴨谷康博 ケースウェスタンリザーブ大学 機械・航空宇宙工学部門 教授)
- Aniso Tubule実験: 重力による茎の形態変化における表層微小管と微小管結合タンパク質の役割
 (代表研究者: 曾我康一 大阪市立大学 大学院理学研究科 准教授)
- PADLES: ライフサイエンス宇宙実験のための受動積算型宇宙放射線計測技術
- Stem Cells実験: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究
 (代表研究者: 森田隆 大阪市立大学教授)
- Space Pup実験: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
 (代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
- SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
- MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
- SMILES: 超伝導サブミリ波リム放射サウンダ
- MCE: ポート共有実験装置